



子育てに寄り添う今治版ネウボラ

日曜日はこの公園に集合！
「いつでもみんながおひさまみたいな笑顔で遊べるように」とこどもたち自身が名づけ完成した。今治こども公園おひさまパークは、たくさんの笑顔であふれています。

妊娠期から18歳までのこどもがいる世帯を切れ目なく支える「今治版ネウボラ」。「ネウボラ」はフィンランドの言葉で「アドバイスの場」「相談の場」という意味。「今治版ネウボラ」は、切れ目ない子育て支援で広い市域のどこにお住まいでも、安心して子育てができる環境づくりに取り組んでいます。

「おひさまパーク」をはじめ、市内各所の公園をリノベーションした「遊び場サテライト」、子育ての悩みを気兼ねなく相談できる子育てひろばや児童館などの「相談サテライト」、地域での学びや活動の場として、図書館や公民館などを「育ちのサテライト」として充実させていきます。

今治版ネウボラの相談サテライトとして、大型商業施設内に設置した地域子育て支援拠点「子育てひろばハビ」では、身

近な場所でもこどもを遊ばせながら、保健師や保育士など専門職に育児の悩みや気になることを気軽に相談でき、保護者同士の交流の場にもなっています。子育てに悩んだ時に、相談できる場所があることは、保護者にとって大きな支えになるはず。このような相談の場や子育て支援施策の情報を多くの人に届けることも大切です。

今治市では、アプリを使って助成申請の案内や子育て講座情報等をプッシュ型で通知することに加え、今治市公式Instagramアカウント「いまばり♡ネウボラ」では、子育て支援制度の案内や遊び場やイベント情報を楽しく発信しています。子育て中の市民「いまばり♡ネウボラフレンズ」が発信する子育て情報は、知りたいこと、行ってみたいところが満載です。

年少人口の減少など社会が変化していく中で、今治市が取り組む「今治版ネウボラ」は、こどもと家庭を地域全体で支える理想的なモデルとなっています。

現在、「今治版ネウボラ」のランドマークとなる拠点施設の計画が進んでいます。

「つよい つながり はぐくむ みんなの居場所～こどもが輝く未来をつくる～」を基本理念に、今治に暮らす誰もが支えあいながら地域のこどもを育て、安心して子育てできる環境を整えていくため、検討を進めています。



写真上：ネウボラ相談サテライトとして、大型商業施設内に設置した地域子育て支援拠点「子育てひろばハビ」。

写真下：2030年の供用開始を目指す「今治版ネウボラ」のランドマークとなる拠点施設（イメージ）。